

What's New for Avid® Media Composer® v2024.6

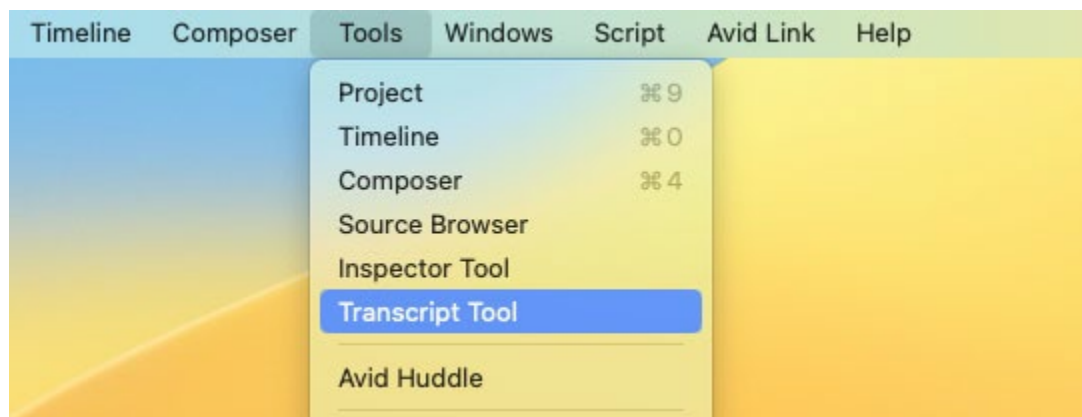
Media Composer v2024.6 の新機能

以下の機能が追加されました。

- 文字起こしツール
- サブクリップとグループクリップの文字起こし時にマスタークリップの文字起こしを参照
- ビン毎にクリップの文字起こしを管理
- Pro Tools セッション (PTXM) を Media Composer にインポート
- マーカーの色とフィールドを追加
- ボリュームとパンをサブフレーム単位でオートメーション
- OpenTimelineIO (OTIO) パブリックプレビュー・アップデート
- Avid Huddle

文字起こしツール

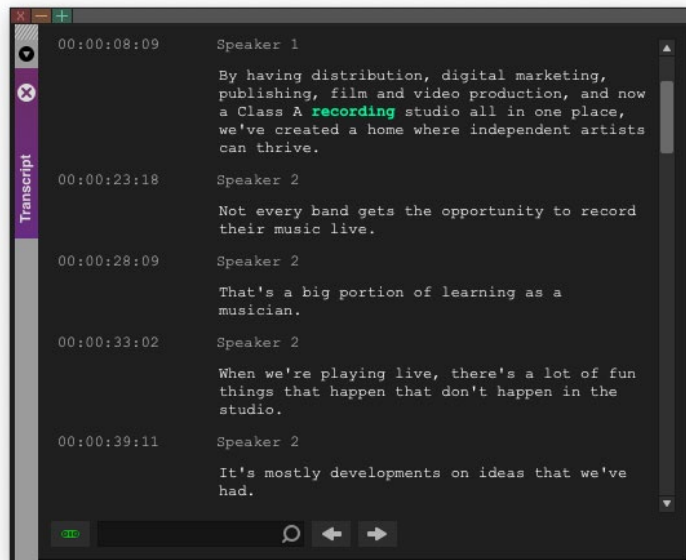
文字起こしツールはインターフェースにドッキングでき、クリップの文字起こしに直接アクセスできます。[ツール]メニュー>[文字起こしツール]を選択してください。ツールを開くと、その後新しいクリップがソースモニターに読み込まれるたびに、リアルタイムでタイムコードと話者 ID がついた文字起こしを表示します。



現在のところ、文字起こしツールは一度に一つだけ開けます。

デフォルトでは、文字起こしツールはソースモニターのプレイカーソルと連動し、再生中には現在の再生位置を太字の緑文字で表示します。文字起こしツールの中の文字をクリックするとクリップの再生位置がその場所に移動し、文章を選択するとソースモニター内の該当する位置に In/.Out 点がつきます。In/Out 点がついたら、インサート (V) またはオー

バーライト (B) を使ってシーケンスに編集できます。パネルの左下にあるギャングボタンをクリックすると、文字を選択したときにソースモニターの再生位置を連動するかどうかを切り替えられます。Offにすると文字を選択しても再生位置は変わりません。



文字起こしツールでは、パネルの左下にある検索フィールドで、文字起こし内の言葉を検索することもできます。検索フィールドの右横の矢印ボタンかショートカットを使うことで、次の言葉やフレーズに移動できます。



ソースモニターで使用できるショートカットは、文字起こしツールでも使用できます。

話者 ID の調整と変更

Media Composer 2024.2 以降では、文字起こしをエクスポートするときに話者 ID がつけられます。文字起こしツールではこの話者 ID を表示することができ、さらに名前を変更することもできます。

話者 ID を変更するには、話者 ID をダブルクリックして新しい名前を入力してください。話者 ID を右クリックすると「Identify Speaker」と「Correct Speaker ID」という 2 つのオプションが表示されます。「Identify Speaker」を選択すると、そのプロジェクト内で以前に認識された話者 ID が表示され、「Clear Name」または「Rename」を選択することで、話者 ID をダブルクリックしたときと同じような挙動を選択できます。何人かが同時に話していたり、声質を誤認識して間違った話者 ID を付加してしまっている場合には、「Correct Speaker ID」で話者 ID を修正できます。話者が異なるのに同じ話者 ID がついている場合には、「Add New Speaker」を選択して新しい ID を追加できます。

サブクリップとグループクリップの文字起こし時に マスタークリップの文字起こしを参照

Media Composer では、マスタークリップの文字起こしデータのみがデータベースに保存されます。サブクリップやグループクリップの文字起こしを実行すると、マスタークリップの文字起こしを参照するかどうかを尋ねられます。マスタークリップを参照すると、改めて文字起こしする時間を節約できます。



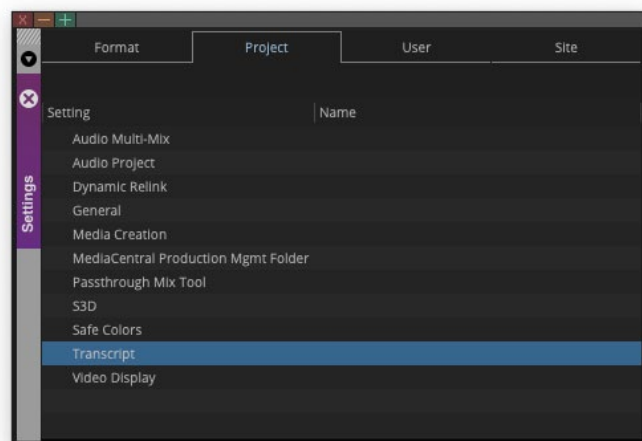
- 📄 サブクリップの文字起こしをマスタークリップから参照した場合、グループクリップの文字起こしで何らかの変更を行うと、マスタークリップにも変更が適用されます。
- 📄 グループクリップの文字起こしをマスタークリップから参照した場合、グループクリップの A1 トラックの音を参照します。
- 📄 グループクリップの文字起こしが自動的にアップデートされない場合は、グループクリップをソースモニターで開き直してください。

サブクリップとグループクリップの参照設定

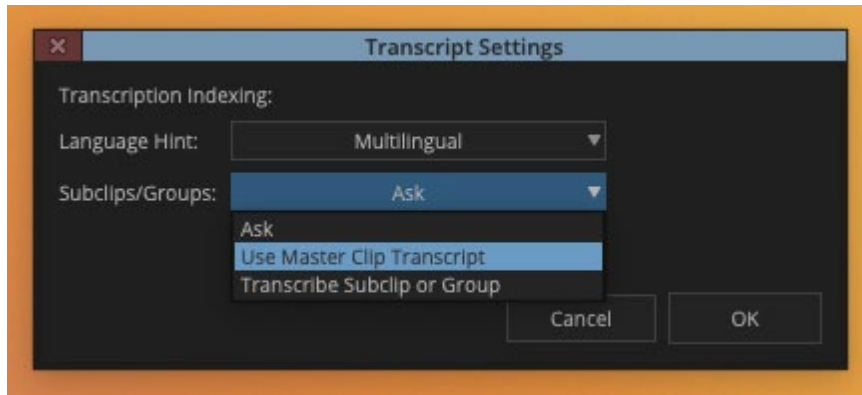
サブクリップとグループクリップの参照の挙動を設定するには、以下の方法に従ってください。

サブクリップとマスタークリップの文字起こしをマスタークリップから参照するには：

1. [ファイル] メニュー > [設定] > [プロジェクト] タブ > [Transcript] を開きます。



2. [文字起こし] 設定ウインドウから[サブクリップ/グループクリップ] のプルダウンメニューを開き、[マスタークリップの文字起こしを使用] を選択します。



デフォルトは[尋ねる]です。

サブクリップとマスタークリップの文字起こしをマスタークリップから参照させないようにするには:

1. [ファイル] メニュー > [設定] > [プロジェクト] タブ > [Transcript] を開きます。
2. [文字起こし] 設定ウインドウから[サブクリップ/グループクリップ] のプルダウンメニューを開き、[サブクリップまたはグループクリップを文字起こし] を選択します。

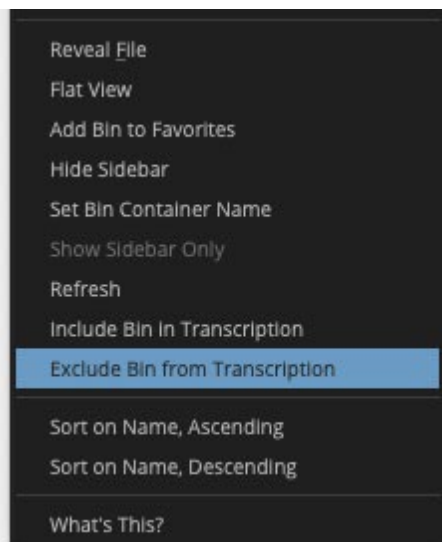
このオプションが選択されていると、サブクリップやグループクリップの文字起こしはマスタークリップとは独立した形で実行されます。



マスタークリップが文字起こしされていない状態で [マスタークリップの文字起こしを使用] を使用すると、マスタークリップを文字起こしします。

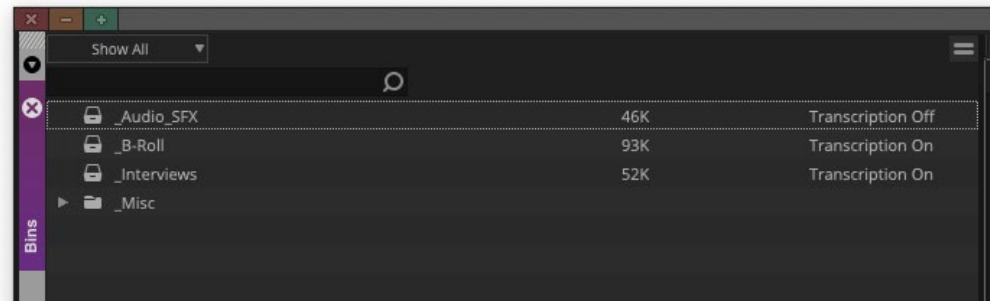
ビン毎にクリップの文字起こしを管理

デフォルトでは、Media Composer はプロジェクト内のすべてのメディアを対象に文字起こしを実行します。しかし、音楽やエフェクト、オーディオが存在しないカメラメディア等には、そもそも文字起こしは必要ありません。ビン毎に文字起こしの実行を設定することで、マシンのリソースを適切にコントロールできます。



ビンを右クリック > [文字起こしインデクシングに含める] または [文字起こしインデクシ

ングから除外]を選択できるようになりました。インデクシングの状態は、ビンコンテナサイドバーの、各ビンの右横に[Transcription On] または [Transcription Off] と表示されます。



また、[Transcript] 設定に[すべての新規ビンを文字起こしインデクシングに含める] というオプションがあります。これをチェックしないと、すべての新規ビンはインデクシング対象から除外されます。



macOS Finder または Windows Explorer でプロジェクトフォルダーを移動した場合、インデクシングのステータスは一緒に移動しません。

Pro Tools セッション（PTXM）を Media Composer にインポート

Pro Tools から、Media Composer にそのままインポートできるセッションファイルを作成できるようになったことで、より早く、効率的な作業ができるようになりました。2つのアプリケーション間のデータ互換をより向上させるための、現在進行中の開発プロジェクトの一環です。Pro Tools では、セッションは「Media Composer 互換セッション」として保存でき、新しい拡張子「.ptxm」が付きます。

PTXM ファイルは、ソースブラウザーから、インポートすることもリンクすることもできます。または、ファイルをビンに直接ドラッグするとインポートされ、option + (macOS) / Alt + (Windows) ドラッグするとリンクされます。PTXM のインポートとリンクの違いは、メディアの扱われ方の違いです。PTXM をインポートすると、Media Creation 設定に従い、Media Composer が管理するメディアとしてインポートされます。リンクすると、ファイルは現在の場所から再生されます。PTXM ファイルをビンに取り込むと、シーケンスが作成されます。

PTXM ファイルには、以下のものは含まれません：

- ビデオトラック
- ベーシックフォルダー
- MIDI トラック（別トラックにオーディオとして記録されている場合を除く）
- VCA トラック（オートメーション情報は統合）
- マスターフェーダー（レンダリングされた場合、すべてのバスに影響）
- マーカー（レンダーの一部になっている場合を除く）



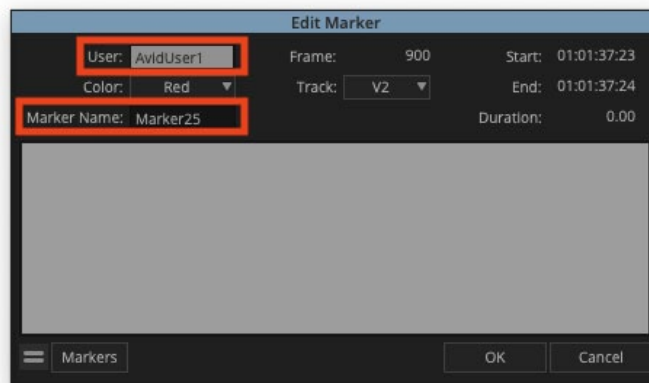
音に関わるオーディオトラックではないトラック（Aug、ルーティング・フォルダー、インストゥルメント等）はオーディオトラックに変換されます。



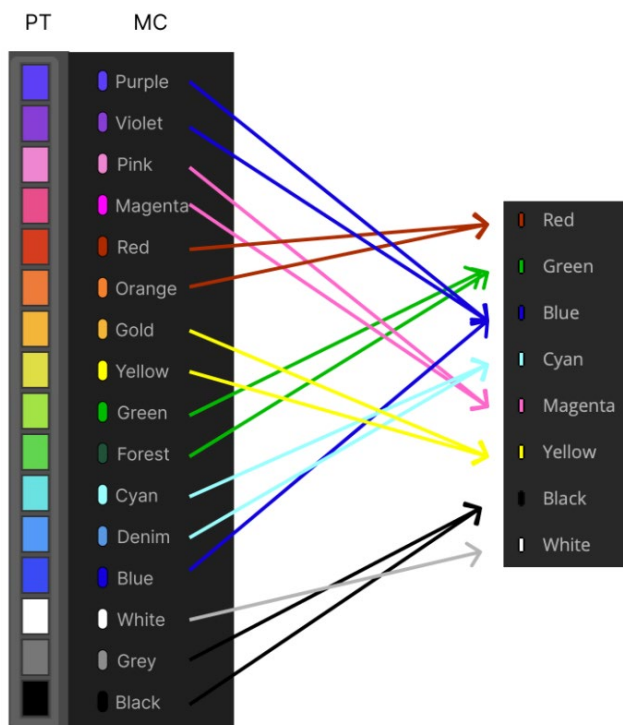
現在のところ Media Composer は 32-bit フローティングメディアを管理できないため、リンクされた 32-bit フローティングメディアを変換してコンソリデートすると、0dB スレッシュホールドを超えたオーディオはクリップされます。この条件に合致するメディアはリンクのままにしておくか、コンソリデートする前にクリップゲインを下げてください。

マーカーの色とフィールドを追加

Media Composer のマーカー色にパープル、バイオレット、ピンク、デニム、フォレスト、オレンジ、ゴールド、グレーが追加され、全 16 色になりました。また、[マーカー名] フィールドが [マーカー名] と [ユーザー] に分けられました。



下位互換という意味では、XML 出力が最適です。以前のバージョンの Media Composer で開いたときは、新しい色は以前の 8 色にマッピングされ、[ユーザー] の情報は [マーカー名] に統合されます。TXT ファイルでエクスポートして以前のバージョンで読み込んだ場合は、マーカー色はデフォルトの単色に置き換わり、[マーカー名] は無視されます。



ボリュームとパンをサブフレーム単位でオートメーション

ボリュームとパンのオートメーションがサブフレーム単位で記録できるようになりました。より正確なオートメーションが記録でき、Pro Tools との互換性も高くなります。言葉のトリミングや音楽編集においても、より正確な編集が実現できます。

サブフレームオートメーションは、これまでのフレームベースのオートメーションと同じようにトラックコントロールパネルからボリューム/パンをクリックすることで開始できます。サブフレームでキーフレームをつけるには、Shift+Command+Option (macOS) または Shift+Ctrl+Alt (Windows) を押すと、「+」のついた手のアイコンが表示されます。この状態でフレーム間をクリックすると、キーフレームが付きます。Command+Option (macOS) または Ctrl+Alt (Windows) ドラッグするとキーフレームのタイミングを左右に移動できます。Option (mac) または Alt (Windows) ドラッグすると、フレームの位置にスナップします。



オーディオミキサーでつけたオートメーションはフレーム精度です。作成されたあと、サブフレーム精度で修正することはできません。

OpenTimelineIO (OTIO) パブリックプレビュー・アップデート

継続的な取り組みの一環として、Avid はオープンソースコミュニティに参加し、ユーザー向けに OpenTimelineIO (OTIO) 機能をサポートしています。EDL (Edit Decision List) と同様に、OTIO は人間が読めるインターチェンジ・フォーマットで、マスタークリップの長さとしーケンス内の配置を規定します。ただし、EDL とは異なり、OTIO ファイルには複数のビデオトラックとオーディオトラックが含まれる場合があります。この形式は主に、迅速なターンオーバーのために拡張可能で簡単に変換できるシステムを必要とする VFX およびオンラインワークフローを対象としています。Media Composer から OTIO ファイルをエクスポートする場合、ディゾルブなどの最も基本的なエフェクトのみが含まれます。



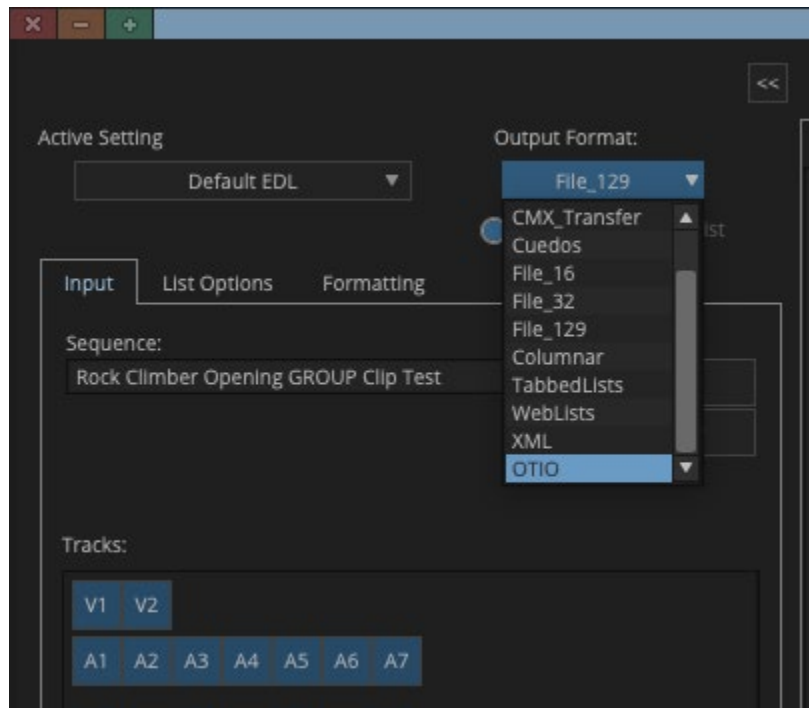
リンクファイルが含まれたシーケンスと、外部システムで作成され、インターリーブオーディオファイルが含まれたメディアが含まれたシーケンスから OTIO をエクスポートすることはできません。

OpenTimelineIO (OTIO) ファイルのエクスポート

OpenTimelineIO (OTIO) ファイルはリストツールからエクスポートできます。

OTIO ファイルをエクスポートするには:

1. シーケンスを選択し、[ツール] メニュー > [リストツール] を開きます。
2. [リストツール] ウィンドウの [出力フォーマット] ドロップダウンメニューを開き、[OTIO] を選択します。



3. [リストを保存] ボタンをクリックし、.otio ファイルを保存します。



新規ユーザーには、「Default OpenTimelineIO」という新しいアクティブ設定オプションが提供されます。現在のユーザー プロファイルでは、出力形式を OTIO に設定することでこれを作成できます。



現在のところ、Media Composer で OTIO ファイルをインポートすることはできません。

Avid Huddle

Media Composer | Enterprise と Media Composer | Ultimate、Avid | Edit on Demand で、[ツール] メニューから Avid Huddle を使用できます。



Avid Huddle のライセンスを取得し、Avid Link および MyAvid 経由で有効にすると、Media Composer から出力された SRT ライブ ストリームを Microsoft Teams に直接送信できます。Media Composer での作業をリモートで「肩越し (over-the-shoulder)」に表示することにより、制作チームのメンバーは使い慣れた共同作業環境で進行中の作業を共有し、

リアルタイムのフィードバックを提供できます。セッションの参加者は、高品質でフレーム精度の高いビデオを表示するだけでなく、ビデオ上に注釈や描画を作成したり、特定のタイムコードでコメントを追加したり、**Media Composer** でマーカーとして使用するための **TXT** ファイルや **PDF** としてエクスポートしたりすることができます。これには、タイムコードベースのコメントと描画のスクリーンキャプチャが含まれます。セキュリティも優先事項であり、これらのユニークなトークン暗号化ストリームは傍受したり記録したりすることができず、そのデータはどこにも保存されません。セッションが終了すると、メディアは残りません。Avid Huddle のインストールと使用の詳細については、『**Avid Huddle Setup and User Guide**』をご参照ください。



映像を出力するエディターは (SRT プラグインの他に) *Avid Huddle* サービスのインストールとライセンスが必要です。参加者には *Microsoft Teams (Work or School edition)* が必要です。

Legal Notices

Product specifications are subject to change without notice and do not represent a commitment on the part of Avid Technology, Inc.

This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the software. The product may only be used in accordance with the license agreement.

This product may be protected by one or more U.S. and non-U.S. patents. Details are available at www.avid.com/patents.

This document is protected under copyright law. An authorized licensee of Avid Media Composer may reproduce this publication for the licensee's own use in learning how to use the software. This document may not be reproduced or distributed, in whole or in part, for commercial purposes, such as selling copies of this document or providing support or educational services to others. This document is supplied as a guide for Avid Media Composer. Reasonable care has been taken in preparing the information it contains. However, this document may contain omissions, technical inaccuracies, or typographical errors. Avid Technology, Inc. does not accept responsibility of any kind for customers' losses due to the use of this document. Product specifications are subject to change without notice.

Copyright © 2022 Avid Technology, Inc. and its licensors. All rights reserved.

The following disclaimer is required by Apple Computer, Inc.:

APPLE COMPUTER, INC. MAKES NO WARRANTIES WHATSOEVER, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, REGARDING THIS PRODUCT, INCLUDING WARRANTIES WITH RESPECT TO ITS MERCHANTABILITY OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE. THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES IS NOT PERMITTED BY SOME STATES. THE ABOVE EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU. THIS WARRANTY PROVIDES YOU WITH SPECIFIC LEGAL RIGHTS. THERE MAY BE OTHER RIGHTS THAT YOU MAY HAVE WHICH VARY FROM STATE TO STATE.

The following disclaimer is required by Sam Leffler and Silicon Graphics, Inc. for the use of their TIFF library:

Copyright © 1988–1997 Sam Leffler Copyright
© 1991–1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software [i.e., the TIFF library] and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The following disclaimer is required by the Independent JPEG Group:

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

This Software may contain components licensed under the following conditions:

Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (C) 1989, 1991 by Jef Poskanzer.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

Copyright 1995, Trinity College Computing Center. Written by David Chappell.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

Copyright 1996 Daniel Dardailler.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Daniel Dardailler not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Daniel Dardailler makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Modifications Copyright 1999 Matt Koss, under the same license as above. Copyright

(c) 1991 by AT&T.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR AT&T MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

The following disclaimer is required by Paradigm Matrix:

Portions of this software licensed from Paradigm Matrix.

The following disclaimer is required by Ray Sauers Associates, Inc.:

"Install-It" is licensed from Ray Sauers Associates, Inc. End-User is prohibited from taking any action to derive a source code equivalent of "Install-It," including by reverse assembly or reverse compilation, Ray Sauers Associates, Inc. shall in no event be liable for any damages resulting from reseller's failure to perform reseller's obligation; or any damages arising from use or operation of reseller's products or the software; or any other damages, including but not limited to, incidental, direct, indirect, special or consequential Damages including lost profits, or damages resulting from loss of use or inability to use reseller's products or the software for any reason including copyright or patent infringement, or lost data, even if Ray Sauers Associates has been advised, knew or should have known of the possibility of such damages.

The following disclaimer is required by Videomedia, Inc.:

"Videomedia, Inc. makes no warranties whatsoever, either express or implied, regarding this product, including warranties with respect to its merchantability or its fitness for any particular purpose."

"This software contains V-LAN ver. 3.0 Command Protocols which communicate with V-LAN ver. 3.0 products developed by Videomedia, Inc. and V-LAN ver. 3.0 compatible products developed by third parties under license from Videomedia, Inc. Use of this software will allow "frame accurate" editing control of applicable videotape recorder decks, videodisc recorders/players and the like."

The following disclaimer is required by Altura Software, Inc. for the use of its Mac2Win software and Sample Source Code:

©1993–1998 Altura Software, Inc.

The following disclaimer is required by Ultimatte Corporation:

Certain real-time compositing capabilities are provided under a license of such technology from Ultimatte Corporation and are subject to copyright protection.

The following disclaimer is required by 3Prong.com Inc.:

Certain waveform and vector monitoring capabilities are provided under a license from 3Prong.com Inc.

The following disclaimer is required by Interplay Entertainment Corp.:

The "Interplay" name is used with the permission of Interplay Entertainment Corp., which bears no responsibility for Avid products. This product includes portions of the Alloy Look & Feel software from Incors GmbH.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

© DevelopMentor

This product may include the JCifs library, for which the following notice applies:

JCifs © Copyright 2004, The JCIFS Project, is licensed under LGPL (<http://jcifs.samba.org/>). See the LGPL.txt file in the Third Party Software directory on the installation CD.

Avid Interplay contains components licensed from LavanTech. These components may only be used as part of and in connection with Avid Interplay.

Attn. Government User(s). Restricted Rights Legend

U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS. This Software and its documentation are "commercial computer software" or "commercial computer software documentation." In the event that such Software or documentation is acquired by or on behalf of a unit or agency of the U.S. Government, all rights with respect to this Software and documentation are subject to the terms of the License Agreement, pursuant to FAR §12.212(a) and/or DFARS §227.7202-1(a), as applicable.

Trademarks

Avid, the Avid Logo, Avid Everywhere, Avid DNxHD, Avid DNxHR, Avid NEXIS, AirSpeed, Eleven, EUCON, Interplay, iNEWS, ISIS, Mbox, MediaCentral, Media Composer, NewsCutter, Pro Tools, ProSet and RealSet, Maestro, PlayMaker, Sibelius, Symphony, and all related product names and logos, are registered or unregistered trademarks of Avid Technology, Inc. in the United States and/or other countries. The Interplay name is used with the permission of the Interplay Entertainment Corp. which bears no responsibility for Avid products. All other trademarks are the property of their respective owners. For a full list of Avid trademarks, see: <http://www.avid.com/US/about-avid/legal-notices/trademarks>.

Adobe and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple and Macintosh are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries. Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks contained herein are the property of their respective owners.

What's New for Media Composer • Created 6/25/24